



▲調理実習のようす



▶講演を行う小暮さん

オリーブの魅力を学ぶ

市内の中学・高校でオリーブに関する講演会や調理実習を開催

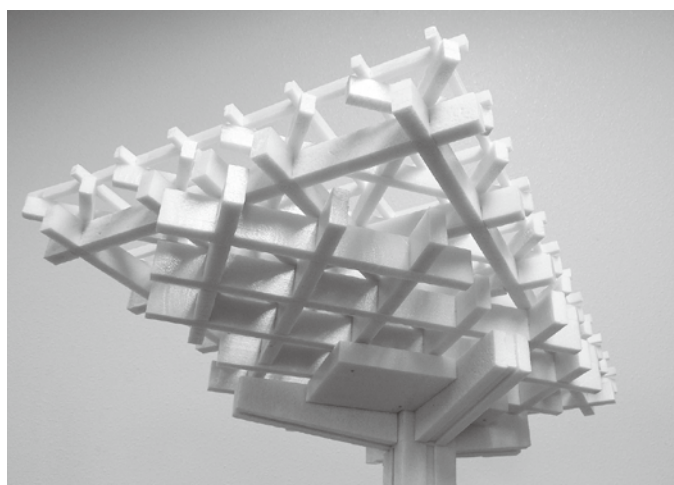
市オリーブ振興協議会では、オリーブオイルソムリエの小暮剛さんを講師に招いて、10月4日に河浦中学校で講演会を開催しました。同中学校の生徒など160人が参加した講演会では、小暮さんがオリーブオイルの特長を紹介したほか、「天草は食材の宝庫。天草で生まれ育った幸せを実感してほしい」などと話され、生徒たちは熱心に聞き入っていました。

また、同5日には、小暮さんが芥明高校を訪れ同校の食品科学科、生活情報科の生徒など16人を対象に調理実習を実施。小暮さんは、生徒が作ったオリーブの葉の粉末を使ったクッキーを試食したほか、オリーブオイルと天草産イノシシ肉を使ったハンバーグやステーキを調理。料理を食べた生徒は、「おいしい。オリーブオイルを使ったほかの料理にも挑戦してみたい」と話していました。

心地よい海風を感じる場を目ざして

有明町でくまもとアートポリス事業

このほど、有明町の四郎ヶ浜ビーチ隣の五多幸広場に整備が計画されている、東屋（休憩所）のデザインが決定しました。くまもとアートポリス事業として、県内外の建築士や学生など18人で構成する「天草アーバ建築塾（塾長＝伊東豊雄・くまもとアートポリスコミッショナー）」が決定したものの。アーバとは、東屋を意味する英語です。格子状に木を組んだ屋根が特徴で、同広場周辺の整備も含めて12月下旬に着工し、平成25年3月に完成する予定です。



▲東屋の屋根部分の模型

自然の恵みに感謝！

みかんちぎり体験

10月10日、御所浦町の牧島地区で地元の小学生がみかんちぎりを体験しました。みかん農家の山崎英昭さんが、地元の子どもたちを楽しんでもらおうと、所有するみかん園の一部を15年以上前から無料で開放しているもの。この日は、御所浦小学校と御所浦北小学校の1年生27人が参加。児童たちは、みかんの大きさを競い合ったり、協力しながらたわわに実った極早生みかんを一生懸命にちぎっていました。体験後は、自分で収穫したみかんをおいしそうにほおばっていました。



▲熱心にみかんをちぎる児童たち

豊漁豊作・家内安全を祈願して

下田北十五夜綱引き大会

9月30日、天草町の下田温泉街で「第6回下田北十五夜綱引き大会」が開かれ、地区住民約200人が参加しました。下田北地区振興会が豊漁・豊作や家内安全を祈願しようと、毎年開催しているもの。中秋の月明かりが照らす中、下田温泉ふれあい館ぶらっと前の道路に置かれた全長100mの綱に、地区住民が東・西軍に分かれて集結。ピストルの合図で競技が始まると、おおぜいの観客が見守る中、子どもからお年寄りまで一生懸命に綱を引っばっていました。

また、競技後はお楽しみ抽選会なども行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



▲力いっぱい綱を引く参加者

新しい獅子頭に大歓声！

新獅子頭の奉納

9月16日、牛深町の牛深八幡宮で、新調した2頭の獅子頭の奉納行事が行われました。この獅子頭は、牛深出身の西向敦さん（横浜市）の寄付により新調したもの。

小雨が降る中、真新しい雄と雌の獅子がそろって勇壮な獅子舞を披露。迫力ある舞に見物客からは大きな歓声と拍手が送られ、中には泣き出す子どもたちもいました。牛深八幡宮の関係者は、「たいせつに使わせていただきます」と話していました。



▲勇壮な獅子舞の披露

13種目で熱戦を展開！

地区対抗総合球技大会

10月7日、河浦まちづくり協議会主催の「地区対抗総合球技大会」が河浦総合運動場を主会場に行われ、地区住民約500人が参加しました。スポーツを楽しみ、住民の親睦を深めることなどを目的に毎年開催されているもの。

競技は、町内5地区対抗で軟式野球やバレーボール、ゲートボールなど全13種目で競われ、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、地区住民の応援を受けながら、総合優勝を目指して熱戦を展開。その結果、上一町田地区が2年連続で総合優勝を飾りました。



▲白熱した試合を展開する選手たち